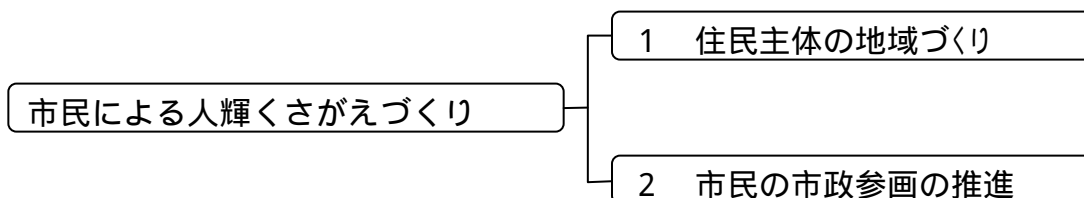


第6章 「 市民が主役のまちづくり 」

第1節 市民による人輝くさがえづくり

1 施策の体系



2 施策

1 住民主体の地域づくり

市内各地域で開催した地域ワークショップにより、地域づくり計画等として整理された地域の暮らしやすさや魅力を上げる意見を活かしていくため、住民が地域づくりについて主体的に考え、自ら実践していく様々なメニューや方法を考慮した取り組みやすい地域づくり推進事業を導入していきます。

実践にあたり地域において主体的に地域づくりを行う団体の育成を図るとともに、地域づくりに関する外部の専門家の派遣や、職員の地域担当制の拡充等の人的な支援制度を導入していきます。

さらに、他の地域の模範となるべき地域づくり活動やその成果等についての評価制度を導入していきます。

また、地域づくりの拠点としての公民館機能について、住民のニーズに対応できるようそのあり方を検討していきます。

2 市民の市政参画の推進

市政の重要な計画を策定するにあたっては、計画段階においてワークショップ手法やパブリックコメント制度を導入するなど市民参画してもらい、また、市民の意見をきめ細かく取り入れるため意見交換会を開催していきます。

そして、市政の成果を適正に判断し、次年度以降の計画策定に活かすため、市民による事業評価制度を導入していきます。

また、市政情報を積極的に公開するため、地区公民館等へ市役所ホームページ閲覧用パソコンを設置していきます。

3 目標

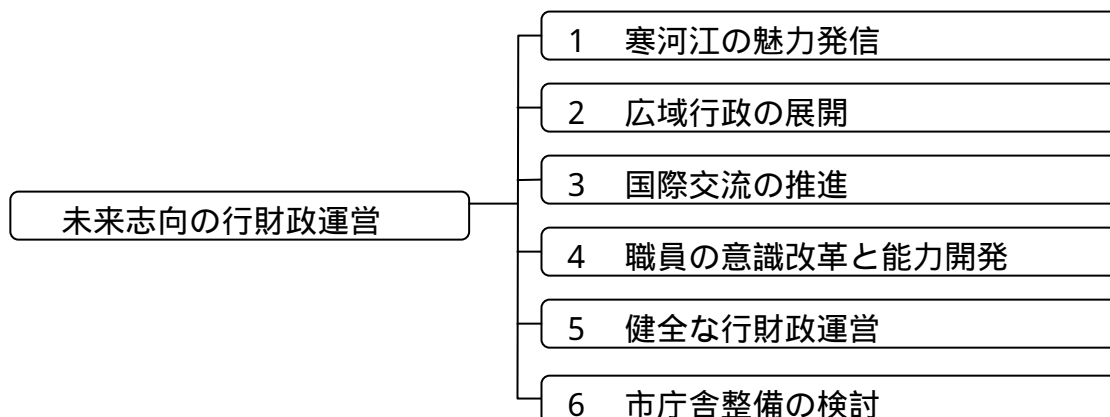
項 目	現状	H27 目標
地域づくり推進事業の拡大	H21 2 地区	市内全地区
公募委員の導入	内規の運用	条例の改正
市民行政評価制度の導入	-	制度の実施
市役所HP閲覧用パソコンの設置	H21 -	4 地区公民館・図書館

4 主な事業

地域づくり推進事業の拡大
地域づくりアドバイザー派遣事業の導入
職員の地域担当制の拡充
市民行政評価制度の導入
市役所ホームページ閲覧用パソコンの設置

第2節 未来志向の行財政運営

1 施策の体系



2 施策

1 寒河江の魅力発信

寒河江の魅力をたくさんの人に知ってもらうには、さくらんぼをはじめとした農産物や特産品と観光資源を市全体で統一したイメージでのPR戦略及び「暮らしやすい寒河江」の情報発信が必要となります。

そのためには、寒河江の魅力と元気を効果的に伝えるイメージキャラクターやさくらんぼ観光大使の活用、トップセールスの充実などアピール力の高いPRに努めるとともに、子育て支援や定住促進などについて、市ホームページなどを活用し「住みよい寒河江」の情報発信を推進します。

また、パブリシティの活用やキャラバンの実施などにより、県内市町村はもとより仙台圏や首都圏を見据えた情報発信に努めます。

2 広域行政の展開

広域観光や地域の農産物の販売促進など、近隣市町と連携して取り組んでいくとともに、将来の効率的な都市機能の分担について情報や意見の交換を行い、市町村合併も含めた広域行政について検討を行っていきます。

また、飛び地の解消に向けて、関係機関との協議を継続的に取り組んでいきます。

3 国際交流の推進

国際社会に対応した地域と人づくりを推進するため、そのための推進母体となる国際交流親善協会を設立するほか、外国人観光客の受入れへの対応や国際社会に対応した市民レベルでの国際交流を推進します。

また、姉妹友好都市である安東市(韓国)、ギレスン市(トルコ)と相互に訪問団を派遣するなど継続して友好交流を推進します。

さらに、本市で暮らす外国人がより快適に安心して暮らせるように、日常生活の情報提供や通訳者などのボランティアを育成していきます。

4 職員の意識改革と能力開発

人材育成基本方針に基づいた研修等を充実し、かつ、職員間において市政情報を共有化しあい、全職員の広報マン意識と経営意識の醸成を図ります。また、市職員が市政の活性化に積極的に取り組む環境づくりのため、職員提案制度を充実するとともに、市職員が地域活動に積極的に参画する「1人1役行動」を推奨していきます。

5 健全な行財政運営

行財政改革アクションプランを推進し、行政評価の導入による費用対効果の検証を行いながら、政策を重視した実施計画等を策定していきます。また、遊休資産の売却と有効利用、市税等の収納率向上等、歳入財源の確保を図ります。

6 市庁舎整備の検討

耐震性や老朽化への対応が必要となっている市庁舎について、市庁舎整備検討委員会を設置し、市庁舎整備のあり方、進め方を検討していきます。

3 目標

項目	現状	H27 目標
市ホームページへのアクセス数	H21 144 千件	200 千件
広域連携意見交換会の設置	-	設置
国際交流親善協会の会員数	-	200 名
財政健全化判断比率(実質公債費比率)	H21 18%	15% 以下
職員提案制度の件数	-	10
「市役所の利用しやすさ」満足度	H22 19%	30%
市庁舎整備検討委員会の設置	-	設置

4 主な事業

イメージキャラクター等の制作及び活用
市報や市のホームページ等の広報媒体の充実
広域連携意見交換会の設置
国際交流親善協会の設立
ワンディ・レスポンス運動の推進
市庁舎整備検討委員会の設置